

第3期 事業報告書

令和4年度

利用者実績

2022/11/29 現在

利用月(入金月)	延べ利用人数	総収入	利用者負担額	一人平均	日数	利用率	新規	退所
10月(12)	190	2,159,925	39,020	11,368	26	7.31		2
11月(1)	214	2,378,488	41,887	11,114	24	8.92		1
12月(2)	206	2,365,702	40,067	11,484	24	8.58		
1月(3)	160	1,848,968	33,991	11,556	23	6.96		1
2月(4)	163	1,830,796	29,040	11,232	22	7.41		2
3月(5)	195	2,253,763	36,996	11,558	26	7.5	2	2
4月(6)	210	2,409,009	55,133	11,471	25	8.40		3
5月(7)	215	2,425,327	54,738	11,281	23	9.35	2	1
6月(8)	296	3,334,704	56,847	11,266	26	11.38	1	
7月(9)	277	3,220,283	88,614	11,626	25	11.08		
8月(10)	252	3,009,067	86,548	11,941	24	10.50		
9月(11)	256	2,902,360	80,718	11,337	24	10.67		
合計	2,634	30,138,392	643,599		24.33	利用平均	合計	
平均	220	2,511,533	53,633	11,436		9.00	11	6
							登録者人数	
							18	

2. 事業報告

①将来を生きる力

・食育



自炊できる力をつける事を目標に月に一度土曜日、希望者だけでなく全員が調理実習をしている。自分で切った食材は嫌いなものでも食べられることが多いようである。使う食材の栄養素が身体にどのように働くかなど、分かりやすく図表を作り説明するようになっている。調理実習は概ね好評で子どもたちは積極的に参加している。

偏食の激しい児童がここで提供される食事を取ることで家庭でも食べられるものが増えた、とうれしい声も届いている。平日は時間的に調理実習は難しいので、時間のある児童や、やりたい児童におやつ作りのお手伝いの位置づけで職員と一緒に調理している。

今年も4月に米の種蒔き、竹の子掘り、5月田植え、梅ちぎり6月にブルーベリー収穫9月に栗拾い10月稲刈り12月に餅つきと四季を通して宗像の瀬口様ご協力のもとさまざまな自然体験をしてきた。裸足で田んぼの中に入ることでのどろの感触を体験できた。



・自然&仕事体験画像



8月には芦屋海浜公園のライフセーバーの方々のご協力で海難救助訓練との位置づけで海水浴、また若松のIYOTAホースクラブ様のご協力で乗馬体験と充実した野外活動をすることができた。家庭単位ではなかなか難しいと思われる自然体験を提供できたことに関係者各位に感謝するとともにプレシャスONEの特徴として大切にしていきたい。

今年の夏休みは北九州市の計らいで、公共施設やケーブルカー等の利用が無料となった。毎日のように出かけてさまざまな経験をし、たくさんの思い出を作ることができた。



②未来を選べ

・英語教育



毎週月曜日、限られた時間の中で楽しく、興味深く英語に親しむよう講師の先生が工夫してくださっている。初級クラス、中級クラスと分けることでスムーズに運営されている。英会話に全く興味のない児童には無理強いをせず別の活動をさせている。今年はイースター、ハロウィンに英会話の先生と企画した。ハロウィンでは本格的な仮装をし商店街を練り歩いた。10店舗に協力していただきお菓子を配っていただいた。1ヶ月以上前から仮装制作に取り掛かり、市販の物をうまく活用することでとても完成度の高い仮装となった。子どもたちもとても楽しめたと思う。このように欧米の文化にも触れる機会にもなっている。保護者には人気のプログラムで月曜日は定員いっぱい状態である。



・IT教育



今年度よりプログラミング教室を始めた。試行錯誤で始めたので6ヶ月経った頃に改善するところ講師の先生方と話し合った。パソコンの基本的な操作が出来れば就職にも大きく結びついていく。興味のあることに抜群の集中力を発揮できる特性を活かして能力を伸ばしていければと考える。小学1年生はまだ参加していないが希望者が多く、来年度はクラスを増やすなどの工夫が必要である。



3. 所感

2021年4月から開所し、2年目となった。発達障害児について理解するため研修を重ね、手探りで対応してきた。今年度は新小学1年生が6名も入所してきた。下の鳥王様より騒音の苦情が多く悩まされたが、現在は落ち着いており関係は良好である。新たに入所希望の問い合わせが多く、あと1名ほどしか受け入れられないのが実状である。